



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年8月5日

上場会社名 ぶらっとホーム株式会社

上場取引所 東

コード番号 6836 URL <http://www.plathome.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鈴木 友康

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 河南 邦男

TEL 03-3251-7178

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	214	△32.7	△123	—	△124	—	△125	—
23年3月期第1四半期	319	50.3	△91	—	△92	—	△111	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△9,895.50	—
23年3月期第1四半期	△8,753.50	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	2,547	2,328	91.4
23年3月期	2,727	2,456	90.1

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 2,328百万円 23年3月期 2,456百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—				
24年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	579	△17.5	△203	—	△207	—	△216	—	△17,032.01
通期	1,462	0.9	△326	—	△335	—	△348	—	△27,440.47

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	13,588 株	23年3月期	13,588 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	906 株	23年3月期	906 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	12,682 株	23年3月期1Q	12,682 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
2. 四半期決算補足説明資料は、平成23年8月5日に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報 (その他) に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 継続企業の前提に関する注記	5
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響による厳しい状況が続いていますが、生産をはじめとする企業活動は停滞から回復への動きがみられます。先行きについては、電力供給の制約や原子力災害の影響に加え、海外景気の動向や原油価格の上昇により、国内景気が下振れするリスクが存在します。

当社の主要な販売品目である国内サーバ市場においては、大震災の影響として、サプライチェーンの寸断による生産の遅れや、企業において復興が優先され新たなIT投資が後回しになるなど、出荷金額と出荷台数がマイナス成長となりました。

このような状況において、当社は、自社製品であるマイクロサーバに注力する方針のもと営業活動を行い、当第1四半期累計期間の売上高は214百万円(前年同期比104百万円・32.7%減少)と前年同期に比べ減少しました。販売費及び一般管理費は、一般的に抑制努力を継続し前年同期並となりました。この結果、営業損失は123百万円(前年同期は営業損失91百万円)、経常損失は124百万円(前年同期は経常損失92百万円)、四半期純損失は125百万円(前年同期は四半期純損失111百万円)となりました。

品目別の売上高動向につきましては、次のとおりであります。

(自社製品コンピュータ)

マイクロサーバについては、システムインテグレータ及び通信事業者などへ着実な売上がありました。しかし、サーバ・ストレージ及びマイクロサーバについては、前期のような大口出荷が無く、自社製品コンピュータ全体の売上高は前年同期と比べ大幅に減少しました。この結果、売上高は62百万円(前年同期比95百万円・60.7%減少)となりました。

(コンピュータ関連商品)

オンライン販売サイトの売上が堅調であるものの法人営業販売が減少し、コンピュータ関連商品全体の売上高は前年同期と比べ減少しました。この結果、売上高は127百万円(前年同期比5百万円・4.5%減少)となりました。

(サービス・その他)

顧客に納入した自社製品コンピュータへの延長保守サービスについては、大口の年間保守案件が継続して受注となったものの、サービス・その他全体の売上高は前年同期と比べ減少しました。この結果、売上高は25百万円(前年同期比2百万円・9.6%減少)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末の資産については、現金及び預金の減少15百万円、売掛金の減少140百万円等により、前事業年度末に比べ180百万円減少し、2,547百万円となりました。

負債については、買掛金の減少67百万円等により、前事業年度末に比べ51百万円減少し、219百万円となりました。

純資産については、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少125百万円等により、前事業年度末に比べ128百万円減少し、2,328百万円となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期累計期間の業績は、大震災の影響等を踏まえた厳しい予想のとおりに移し、平成23年5月13日の決算発表時に公表しました平成24年3月期の業績予想に変更はありません。

当社は、当期を含む3ヵ年の中期経営方針において、平成25年3月期からの経常黒字化を実現するために、限られたコストを十分活かしながら、顧客のニーズを徹底的に拾い上げることで製品・サービスに磨きをかけ、今後市場が大きく拡大すると見込まれるマイクロサーバ市場におけるナンバーワン企業を目指します。マイクロサーバ製品を通じて顧客の課題解決を実現し収益拡大を図るとともに、固定費の一層の削減策を計画してまいります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年 3 月 31 日)	当第 1 四半期会計期間 (平成23年 6 月 30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,086,095	2,070,804
売掛金	226,812	85,942
商品及び製品	28,252	23,655
原材料	65,028	78,675
その他	100,887	73,896
貸倒引当金	△340	—
流動資産合計	2,506,736	2,332,974
固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	140,461	134,098
その他	80,620	80,620
投資その他の資産合計	221,082	214,719
固定資産合計	221,082	214,719
資産合計	2,727,818	2,547,693
負債の部		
流動負債		
買掛金	131,397	64,128
未払法人税等	12,071	5,057
賞与引当金	19,427	29,620
製品保証引当金	2,360	1,894
その他	89,464	102,022
流動負債合計	254,719	202,722
固定負債		
退職給付引当金	16,354	16,382
固定負債合計	16,354	16,382
負債合計	271,074	219,104
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,414,700	2,414,700
資本剰余金	5,566,781	5,566,781
利益剰余金	△5,359,435	△5,484,929
自己株式	△158,329	△158,329
株主資本合計	2,463,716	2,338,221
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△6,972	△9,633
評価・換算差額等合計	△6,972	△9,633
純資産合計	2,456,744	2,328,588
負債純資産合計	2,727,818	2,547,693

(2) 四半期損益計算書
 (第 1 四半期累計期間)

(単位: 千円)

	前第 1 四半期累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月 30 日)	当第 1 四半期累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月 30 日)
売上高	319, 253	214, 920
売上原価	216, 817	148, 783
売上総利益	102, 436	66, 136
販売費及び一般管理費	193, 638	189, 843
営業損失 (△)	△91, 202	△123, 706
営業外収益		
受取利息	1, 122	—
その他	203	72
営業外収益合計	1, 326	72
営業外費用		
為替差損	365	275
投資事業組合運用損	2, 707	634
営業外費用合計	3, 072	909
経常損失 (△)	△92, 948	△124, 544
特別利益		
貸倒引当金戻入額	256	—
製品保証引当金戻入額	631	—
特別利益合計	887	—
特別損失		
減損損失	1, 869	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	16, 130	—
特別損失合計	18, 000	—
税引前四半期純損失 (△)	△110, 061	△124, 544
法人税等	950	950
四半期純損失 (△)	△111, 011	△125, 494

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。